

【件名】生成 AI の利活用に向けた取組状況について

【要旨】区では昨年度より、さらなる業務効率化や区民サービスの向上を目指し、生成 AI の利活用に向けた取組を進めてきた。今年度の取組について報告する。

1 区が活用する生成 AI ツールの種類と運用状況

（1）Microsoft Copilot（旧称：Bing Chat Enterprise）

ア 機能

MS365 に内包されている対話型生成 AI ツール。ブラウザから文章や画像の生成、アイデア出し等が可能。

イ 費用

追加の費用負担なく利用可能。

ウ 運用

職員の業務効率化に寄与すると考えられるため、令和 6 年 4 月から MS365 のライセンスを持つ全職員が利用できる環境を整備し、運用を開始した。

（2）Copilot for Microsoft 365（旧称：MS 365 Copilot）

ア 機能

MS365 の各アプリケーションに GPT-4.0 が組み込まれており、アプリケーション上で文章や画像の生成、資料の下書きや校正、会議やメールの要点整理等が可能。また、区の内部文書を参照して資料等を生成することも可能。

イ 費用

MS365 利用ライセンスとは別のライセンスが必要。追加の費用負担がある。

ウ 運用

当初は様々な業務及び多様な職種・職層の職員に対し、幅広く導入を行うこととしていた。その後、さらに検討を進め、DX 推進室職員を中心として、利活用に向けた研究や環境整備を集中的に進め、そこで得られた知見を活かして、段階的に導入拡大を図っていくこととした。

2 Copilot for Microsoft 365 の段階的な導入について

（1）現状

令和 6 年 4 月から、以下の取組を行っている。

- ・既存の区電子文書等の参照環境の効果的な整備に向けた研究や検証
- ・新庁舎移転で導入するモバイルパソコンへの効率的なインストール環境の研究や検証
- ・会議等における議事録の作成及び要約機能の検証
- ・効果的な利活用に資するマニュアル整備に向けた機能分析
- ・その他、業務効率化に資する利活用に向けた機能研究や環境整備のあり方

(2) 今後の取組

上記の取組から得られた知見を基に、6月から一部職員を対象として各部署の業務において Copilot for Microsoft 365 の利用を開始する。

使用方法の習得や活用促進のため、複数回の研修を実施する。その後の対応は、導入効果を測定し定めていく。

ア 対象者

DX リーダー、昨年度の生成 AI アイデアソン参加者・ChatGPT 検証参加者、管理職等

イ スケジュール

6 月 対象者が Copilot for Microsoft 365 利用開始

6 月～7 月 研修実施

8 月下旬 導入効果の測定

ウ その他

生成 AI 活用に向けた研修の実施やガイドラインの整備については、職員への効果的な理解促進や周知の観点のもと、上記の取組の進捗を踏まえつつ、適切に進めていく。